

特集

平成24年度当初予算 一般会計予算 7,424億円 対前年度当初予算比 マイナス0.5%
安全・活力・安心の『清流の国ぎふ』づくり

平成24年度は「安全・活力・安心の『清流の国ぎふ』づくり」をテーマとし、安全な暮らしを守る防災体制の強化や経済情勢の激変に対応する産業・雇用の構築など、5つの柱を中心に施策を推進するとともに、行財政改革アクションプランの総仕上げをし、県の未来づくりに取り組みます。

問 財政課 ☎ 058(272)1130

岐阜県の予算

Web 検索

3 支え合い、未来につながる岐阜県づくり



誰もが安心して暮らせるよう、障がい児者への支援を充実させるとともに、医療・介護人材の確保・育成に取り組みます。また、住民が互いに支え合える環境づくりを推進し、子どもを産み育てやすい社会環境や人づくり、社会基盤の整備に取り組みます。

安心な地域づくり

- 岐阜県総合医療センター・(仮称)小児医療センターの整備…………… 1億 1,907万円
- 希望が丘学園の再整備の推進…………… 3,462万円
- がん情報センター設置等がん対策の推進…………… 2億 6,505万円
- 認知症高齢者支援の充実・強化…………… 5,023万円

支え合う人づくり

- 要支援者に対する「地域での見守り活動」の充実… 1億 3,714万円
- 地域コミュニティの再生と活性化…………… 2,000万円

未来につながる社会基盤整備

- 東海環状自動車道の整備促進…………… 87億 6,667万円
- 地域の安全・安心を支える生活道路の整備…………… 61億 3,926万円

4 『清流の国ぎふ』づくり



清流の国ぎふ森林・環境税を活用し、生物多様性や水環境の保全、森林を守って活かす「恵みの森林づくり」を推進しつつ、「生きた森林づくり」に取り組みます。また、「魅力ある農村づくり」や、農畜産物の競争力を高めるための「強い農業づくり」を展開します。

身近な環境の保全

- 里地における生態系保全の取り組み支援…………… 1,520万円
- 上下流域が連携した河川清掃モデルの確立や上下流交流ツアーの実施…………… 1,130万円

恵みの森林づくり・生きた森林づくり

- 水源林等の環境保全林の整備…………… 3億 9,656万円
- 生活に身近な里山林の整備・管理の促進…………… 5,800万円
- 災害防止と木材生産を図る間伐の推進…………… 27億 7,000万円

魅力ある農村づくり・強い農業づくり

- 農業水利施設を活用した小水力発電の導入促進… 2億 8,060万円
- 新規就農者の育成・確保…………… 3億 442万円
- 水田農業経営の競争力・体質強化…………… 3億 4,863万円

5 ぎふ清流国体・ぎふ清流大会の開催



魅力あふれる式典の開催や円滑な競技会の運営により、国体後の魅力ある岐阜県につなげます。

- 東日本大震災被災地選手の支援…………… 8,030万円
- 会場におけるおもてなし・歓迎装飾…………… 2億 4,674万円
- 開・閉会式、競技会の運営…………… 29億 5,503万円

1 安全な暮らしを守る防災体制の強化

東日本大震災での超広域災害を多面的・多角的に検証した震災対策検証委員会からの提言や、昨今の集中豪雨被害などを踏まえ、防災、“減災”対策を着実に実施します。



災害に強い県土整備

- 住宅・建築物の耐震化支援の拡大…………… 3億 525万円
- 土砂災害警戒情報等のメール配信システムの構築…………… 1,100万円
- 緊急輸送道路の橋りょう耐震対策の推進…………… 19億 1,703万円

災害医療と業務継続体制の構築

- 災害拠点病院の機能の充実・強化…………… 3億 5,851万円
- 次世代エネルギー導入による道の駅の防災機能強化…………… 5,000万円

“減災”に向けた取り組みの推進

- 緊急時迅速放射能影響予測ネットワークシステム(SPEEDI) 端末の整備…………… 1,695万円

2 経済情勢の激変に対応する産業・雇用の構築

円高を活用した海外事業の展開や、高品質な商品・サービスの提供を支援し、県内産業の育成を図るとともに、人材育成や求職者のニーズに応じた就労支援を行います。また、観光交流人口や地域消費の拡大を図り、賑わいと魅力あふれるまちづくりを推進します。



外的要因を活かした成長戦略

- 中小企業の海外展開の立ち上げ支援…………… 354万円
- 部材産業における新ビジネス創出と取引拡大の支援…………… 681万円

人材の育成と就労環境の整備

- 実践的なキャリア教育の推進…………… 5,538万円
- 「ジョブステーション(仮称)」による求職者への総合支援…………… 6,600万円

観光交流人口と地域消費の拡大

- インターネットを活用した誘客キャンペーン…………… 2,560万円
- 外国人観光客の誘客プロモーション…………… 2,970万円

※数字は、平成24年第1回岐阜県議会定例会に提案された当初予算案をもとに掲載しています。



保健師 豊田 留実

女性の方必見！子宮頸がん検診を受けましょう！

子宮頸がんとは…

子宮頸がんは子宮の入り口である「子宮頸部」にできるがんで、最近では20代～30代の患者が急増しています。背景には感染の原因となる性交渉の低年齢化、がん検診受診率の低さなどがあると考えられています。

原因の99%はヒトパピローマウイルス (HPV)

子宮頸がんの原因とされるHPVは、決して特別なウイルスではありません。性交渉によって感染し、性体験のある女性の約60～80%が生涯に1度は感染するといわれています。ただし感染しても約90%は免疫が働いて、HPVは自然に消失してしまいます。残りの約10%が何らかの形で感染が持続した結果、5～10年、または数十年後に現れるのが、「子宮頸がん」です。

ワクチンの接種と定期検診で予防ができる

子宮頸がんの予防として、HPVの中でも発がん性の高い群に対するワクチンを接種する方法があります。この方法で大部分のHPVを体内から排除することができます。そこで、白川村では中学2年生～高校1年生を対象として、ワクチン接種費用を全額助成しています。しかし、ワクチンを打ってなくても「子宮頸がんの定期検診」を受けることで、がんになる前の状態で発見され、治療を行うことができます。定期健診を受け、早期に発見できれば、たとえ治療することになっても、子宮は温存できます。子宮頸がんは、ワクチンと定期検診で「予防できるがん」となったのです。

子宮頸がん検診について

子宮頸がん検診は、痛みもほとんどなく、短時間で済む検査です。検査は問診の後、膣に綿棒やブラシなどを入れ、子宮頸部の表面の細胞を採取します。その後、顕微鏡でがん細胞や異型性の細胞（前がん病変）の有無を調べます。細胞の採取自体は数秒で済み、痛みもほとんどありません。平成23年度、白川村で実施している「がん検診推進事業」において、**子宮頸がん検診受診率は34%**でした。**乳がん検診受診率の48%**と比べると、受診率が低いことがわかります。今年も下記日程で検診を行います。助成制度もありますので、この機会に是非、受診してみましょう。

子宮頸がん・乳がん検診

対象者 村内に住所を有する女性で、子宮頸がんは20歳以上、乳がんは30歳以上の方

日程

- 5月15日(火)
 - 10:00～11:00 白川診療所
 - 13:30～14:30 平瀬診療所
- 9月27日(木)
 - 13:30～14:30 白川診療所

料金

子宮頸がん検診	20歳～69歳	1,000円
	70歳以上	300円
乳がん検診	30歳～69歳	1,000円
	70歳以上	300円

がん検診の助成制度について

白川村では、特定の年齢に達した方を対象として、子宮頸がん・乳がん・大腸がん検診についての資料と検診無料クーポン券の配布を行っています。クーポン券は5月以降に発行予定です。

対象者

- ・子宮頸がん(女性)
昨年度20歳、25歳、30歳、35歳、40歳になった方
- ・乳がん(女性)
昨年度40歳、45歳、50歳、55歳、60歳になった方
- ・大腸がん
昨年度40歳、45歳、50歳、55歳、60歳になった方

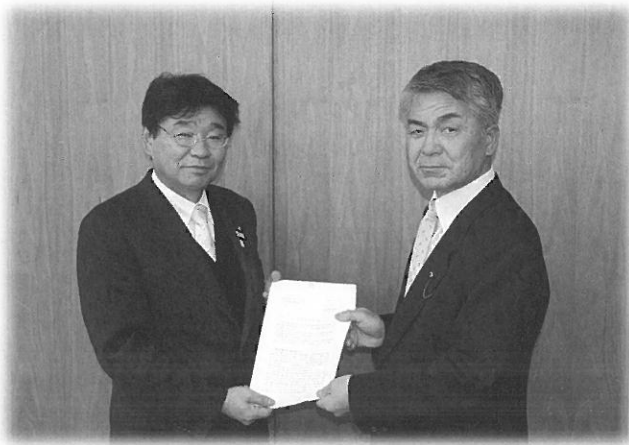
第5次行政改革大綱が策定されました

3月26日(月)役場大会議室において、白川村行政改革懇談会（委員8名）会長の川田裕さんから成原村長へ、第5次行政改革大綱策定に関する提言書が手渡されました。

行政改革懇談会は、村の行政改革について村民の代表者から意見を聞くために昨年度発足した会です。これまで第4次行政改革の実施内容について村から説明を受け、行政改革推進の検証及び、次期行政改革の方向性について話し合ってきました。この度、村の策定する第5次行政改革大綱の案に対する意見をまとめ、提言書として提出されました。

これを受けて、村は第5次行政改革大綱を正式に策定しました。今後、行政改革懇談会は、行政改革の進捗状況について毎年度村から報告を受け、検証していくことになります。

これまで会議に出席していただいた委員の皆様、ありがとうございました。



【第5次行政改革大綱の考え方】

第六次総合計画に掲げる村の目標将来像を効率的に具現化するための大綱とし、最小の経費で最大の成果を挙げ、村の組織及び運営の合理化に努めることを目指します。

【3つの基本方針】

- (1) 村民との協働による村づくり
- (2) 村民にわかりやすい行政運営の推進
- (3) 堅実で安定した行財政運営の執行

●問い合わせ先 総務課 環境計画係 TEL 6-1311

診療所 だより

伊左次 悟 先生



義務を終えて、これから

自治医科大学は県との契約で学費等が減免されるかわり、9年の義務（へき地医療5年含む）が課されます。私の場合は県立岐阜病院（現 総合医療センター）で2年、そして白川村で7年勤務したことで、義務を終えることができました。なお4月からは、引き続き県から村への派遣という形での勤務を継続することになりました。

村民の皆さまに受け入れていただき、今日まで続けてくることができました。職場においては、最初の6年は萩原事務長さん以下のスタッフに支えられて困難を乗り越え、仕事に適應してきました。昨年度は、事務長兼務となった向村民課長さんのご指導

の下、新旧の問題解決に取り組むことができました。

現在、7年間の診療に関わるデータをまとめています（特に飛驒トンネル開通前後で大きな変化がみられます）。昔のへき地診療所とは異なる診療所の役割を再定義し、言語化する作業をします（いずれ公開します）。それをスタッフで共有し、村の施策との整合性も確認しながら実践します。

愛知慈恵会と進めてきた「高齢者が住みなれた村で暮らし続けるための取り組み」は、さくら山荘の入居待機者も増え、この4年で構築してきた体制のみでは対応しきれなくなっており、その継続と発展を支える役割を続けて担っていきます。

就学指導等を含め、保育園や学校の体制が整備されてきたことにも対応し、乳幼児からの関わり方の体制を整備します。4月からは期待の若手保健師2人と連携し、富山大学地域看護学教室のご指導も得ながら進めます。

村の疾病等の現状や予防の取り組みを、研究も併せて行います。これには臨床疫学の大学院のプログラムへの所属や、県のへき地診療所のネットワーク等を活かしながら行います。



白川と郡上結ぶ路線バス運行

4月1日(日)株式会社白鳥交通(郡上市白鳥町)が白川村と郡上市を結ぶ定期路線バス「郡上八幡白川郷線」の運行を開始し、飯島バス停前で出発式が行われました。白川～郡上間のバス運行は、JR東海バスの名金急行線が廃止となって以来約

10年振り。成原村長は「白川と郡上を結ぶ路線は村民の願いであり、大変ありがたい。また、村民だけでなく、多くの観光客の方にも利用していただきたい」とあいさつし、同社代表取締役の尾藤安正さんへ花束を贈り、祝福しました。



あなたからの情報をお待ちしています。
TEL 6-1311 内線123



冬の夜空に輝く大輪

2月25日(土)平瀬地区の平瀬温泉街で「平瀬温泉かってこ雪花火」があり、約350発のきれいな花火が住民や観光客らを魅了しました。冬場の風物詩として定着させようと、南部青年会や住民らでつくる実行委員会が毎年開いており、今年で7回目。会場には、かまくらや雪で作った滑り台も登場し、子供たちが雪遊びを楽しんだり、カモ汁やたる酒の振る舞いに行列ができるなど、にぎわいをみせていました。

世界遺産を火災から守る

2月28日(火)荻町地内で消防訓練が行われ、村消防団や高山消防署白川出張所員、地元住民ら約50人が訓練に励みました。訓練は、国の文化財防火デー(1月26日)に合わせて毎年この時期に実施しており、この日は明善寺付近を舞台に、雪深い中での水利確保や互いの迅速な連携について確認し合いました。



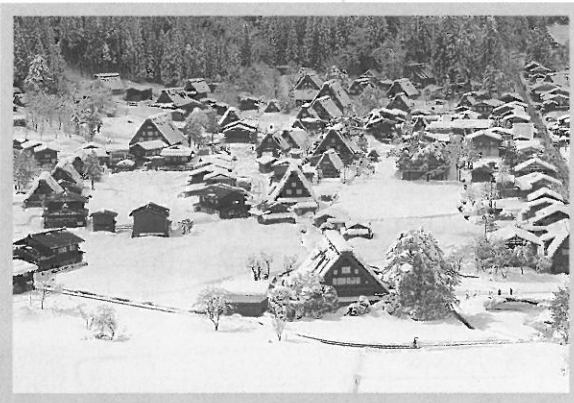


マスクと義援金を飯舘村へ

3月13日(火)白川村職員互助会が「日本で最も美しい村」連合に加盟している福島県の飯舘村職員互助会へ、高機能マスクと義援金を送りました。飯舘村の職員は、全村避難の中でも公務のため村へ戻ることがあり、高機能マスクの必要性を呼びかけたところ、村職員や村議会議員、村内小中学校の教職員から10万918円が集まりました。2万円をマスク300枚の購入に充て、残りを義援金としました。

元気いっぱい、ダンス披露

3月15日(木)白川村文化交流センターで、ヒップホップダンス教室の発表会「S-MIX DANCE NIGHT」が行われ、受講生の小学生児童や保育園児24人が練習の成果を披露しました。教室は昨年4月に開設し、発表会は初めての開催。児童らはカラフルな衣装を身にまとい、EXILEやジャクソン5などの曲に合わせて、堂々としたダンスを魅せました。また、園児の母親と一緒にダンスを踊り、親子共演を果たしました。



寒い冬に逆戻り

冬型の気圧配置が強まった影響で、3月25日(日)から26日(月)にかけ、飛騨地方で雪が降りました。白川村では、25日午前1時に66センチだった積雪が、26日午前9時には121センチを記録。3月下旬としては、異例の積雪となりました。また、26日の最高気温は1.3度と、厳しい冷え込みに見舞われました。展望台を訪れた観光客は「寒いけど、この時期に美しい雪景色が見ることができて、良かった」と話しました。

迫力あるプレーに歓声

3月17日(土)白川郷ジュニアバレーボールクラブ員の児童22人が、岐阜メモリアルセンターで開催されたバレーボール女子V・プレミアリーグを観戦しました。この日は、東レ対久光製薬、デンソー対岡山の2試合が行われ、クラブ員たちは国内最高峰のプレーに目を輝かせていました。6年生の吉脇清香さんは、「テレビより迫力があつた。中学校でもバレーボール部に入り、頑張りたい」と話しました。



編集者のひとりごと

今回が、私の作る最後の「広報しらかわ」となりました。担当として心がけたことは、できる限り現場へ足を運んで取材すること、新聞に毎日目を通すことでした。私は白川村出身でないこともあり、村内各地で行われる行事等の取材は全てが新鮮で、また、取材を通して色々な方と出会い、お話をうかがうことで、白川村についてたくさんの事を知ることができました。なかなか記事が書

けず、悩む時期もありましたが、「広報楽しみにしているよ」といった声にも励まされ、頑張ることができました。取材にご協力いただいた皆さん、楽しみに読んでいただいた皆さん、3年間ありがとうございました。

さて、4月号より、約11年半振りに誌面をリニューアルしました。新しい「広報しらかわ」も、皆さんにとって読みやすく、親しんでいただけるものになると思いますので、ご愛読のほど、よろしくお祈りします。(白木秀史)

忙しい朝でも作れる 簡単!お弁当レシピ Vol.3



テーマ* ラップを使った子ども弁当



わんちゃんのおむすび弁当



材料

(わんちゃんおむすび)

- ごはん
- きゅうりの漬物
- 塩、のり
- ラップ

(豚肉のケチャップ炒め)

- 豚肉
- 玉ねぎ
- ケチャップ
- 中濃ソース

(なくてもよい。とんかつソースでも代用可)

(かにさんソーセージ)

- 皮なしソーセージ…3本
- 塩少々

(たまご焼き)

- 玉子……………1個
- のり

砂糖……………少々

(付け合せ)

- ブロッコリー
- ミニトマト

作り方

(わんちゃんのおむすび)

- ①小さめの器の上にラップをのせて器と同量くらいのごはんを入れて真ん中にきゅうりの味噌漬けをのせ、同量のご飯で中身がでないようにかぶせる。
- ②ラップごとご飯を取り出し、そのまま三角のおむすびをつくる。
- ③三角の真ん中あたりをラップごとつまみ出し、立体的な鼻を作る。
- ④ラップを外し、塩をふり、のりで目を付け、鼻は中身と同様のきゅうりの味噌漬けをつける。
- ⑤新しいラップを包み直す。

(かにさんソーセージ)

- ①かニさん型に切り、オイルで炒め、塩をふる。

(豚肉のケチャップ炒め)

- ①豚肉と玉ねぎを炒め、肉の色が変わったらケチャップとソースを少し入れて味を付ける。

(玉子焼き)

- ①玉子に砂糖を少々入れ、熱したフライパンに流し込み少し表面が固まってきたらりのりをのせフライパンの向こう側から手前に向けて少しづつたたむように巻く。

- ②キッチンペーパーの上にセーパーで包み形を整える。少しさめたら切る。

(付け合せ)

- ①ブロッコリーは塩茹でをして、オリーブオイルを少しまぶして塩をする。

- ②ミニトマトは飾る。

きみママから一言

今月は子供用のお弁当です。ラップを使うことによって、とってもカンタンにできます。ラップをつけたままお弁当箱に入れることがポイントです!

☆きみママのレシピはブログでも更新しています。

はらじゅく畑で検索 検索



警察官の紹介

春の人事異動で、4月より赴任されました。



庄田 浩志さん (鳩ヶ谷駐在所)

前勤務地

恵那警察署 刑事課

趣味

剣道、旅行

ひとこと

世界遺産の地で勤務できることを誇りに思います。村民の皆様の手助けがなければ、元気に明るくがんばりません。



水谷 博之さん (平瀬駐在所)

前勤務地

岐阜県警察本部

趣味

生活安全部 自動車警ら隊

ひとこと

バスケットボール、ドライブ
白川村には初めて来ました。村民の皆様が安心して暮らせるよう、がんばります。

戸籍のまど

誕生おめでとう

川田 愛子ちゃん(萩町)
3月5日 晋也・和枝



末永くお幸せに

古田 直也(高山市)
手塚 文美(萩町)
3月30日 高山市

おくやみ申し上げます

下方すみ子(鳩谷)
3月6日 92歳

むらの人口

男 845人(-20)
女 910人(-11)
計 1,755人(-31)

世帯数 559世帯(-17)
高齢化率 29.2%

4月1日現在、()内は前月比

応援してください!ふるさと寄付金 村外のご親戚やご友人に、白川村への「ふるさと寄付」をお勧めください。